

～久万高原町では～

带状疱疹予防接種

任意予防接種費用の一部補助を実施します

久万高原町では、带状疱疹予防接種について任意接種を希望する方に、予防接種費用の一部を助成します。

費用の助成を受けられるのは、2種類のワクチンのどちらか一方を、生涯に1度限りです。

1. 補助対象者

接種日において町内に住所を有する50歳以上の方

2. 補助額

【生ワクチン】 4,000円/回（1回）

【不活化ワクチン】 10,000円/回（2回まで）

※2種類のワクチンからどちらか一方を選択

3. 補助の方法

(1) 町内の医療機関で予防接種を受ける場合

医療機関に予約をし、接種前に接種する医療機関で委任状を記入後、接種を受けてください。接種後は、補助額〈生ワクチン：4,000円〉又は〈不活化ワクチン：10,000円〉を引いた額を支払ってください。

【接種時に必要な物】 運転免許証や健康保険証など住所のわかるもの

(2) 町外の医療機関で予防接種を受ける場合

希望する医療機関で接種を受け、接種費用を全額支払った後に、次の書類等をそろえ、町へ申請、その後補助金額を指定の口座に振り込みます。

【申請時に必要な物】

① 印鑑（朱肉使用の印）

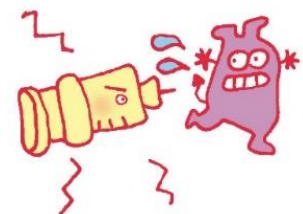
② 接種済証の写し

③ 領収書の写し（**予防接種名**、被接種者名、接種費用の記載）、

④ 振込先のわかるもの

【申請期間】 接種日の属する年度の末日まで

【申請場所】 久万保健センター



【重要】健康被害に対する救済措置について

予防接種法に基づかない任意の予防接種に位置づけられています。このため、万が一ワクチン接種による健康被害が発生した場合は、予防接種法の被害救済の対象にはなりません。独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく、副作用救済給付が適用されます。

日本国内で販売承認されていないワクチンは、救済制度の対象になりません。接種するときに、医師にワクチンについて確認をしてから接種を受けてください。

带状疱疹について		
<p>带状疱疹は、水ぶくれを伴う赤い発疹が体の左右どちらかに帯状に現れる皮膚の疾患です。強い痛みを伴うことが多く、症状は3～4週間ほど続きます。子どものころにかかった水痘（みずぼうそう）ウイルスが体の中で長期間潜伏感染し、免疫が低下した際などに「带状疱疹」として発症します。日本では、80歳までに約3人に1人が発症するといわれています。また、皮膚症状が治った後も、約2割の方には長期間痛みが残る带状疱疹後神経痛（PHN）になる可能性があります。</p>		
ワクチンについて		
	【生ワクチン】 乾燥弱毒性生水痘ワクチン (ビケン)	【不活化ワクチン】 乾燥組換え带状疱疹ワクチン (シングリックス)
接種方法	皮下注射	筋肉内注射
予防効果	50～60%	90～95%以上
持続期間	5～8年程度	9年以上
副反応	注射部位の痛み、腫れ、発赤。 非常にまれにアナフィラキシーや 血小板減少性紫斑病など重篤な副 反応が現れることがあります。	注射部位の痛み、腫れ、発赤、筋 肉痛、全身倦怠感、悪寒、発熱な ど。 非常にまれにアナフィラキシーな ど重篤な副反応が現れることがあ ります。



【問い合わせ先】

久万保健センター（予防接種係）

☎ 0892-21-2700